



調査管理表記規則マニュアル

ARIS Risk & Compliance Manager

バージョン 9.8 - Service Release 1

2015 年 6 月

This document applies to ARIS Risk & Compliance Manager Version 9.8 and to all subsequent releases. Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © 2010 - 2015 [Software AG](#), Darmstadt, Germany and/or Software AG USA Inc., Reston, VA, USA, and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

The name Software AG and all Software AG product names are either trademarks or registered trademarks of Software AG and/or Software AG USA Inc. and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners. Detailed information on trademarks and patents owned by Software AG and/or its subsidiaries is located at <http://softwareag.com/licenses>.

Use of this software is subject to adherence to Software AG's licensing conditions and terms. These terms are part of the product documentation, located at <http://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

This software may include portions of third-party products. For third-party copyright notices, license terms, additional rights or restrictions, please refer to "License Texts, Copyright Notices and Disclaimers of Third Party Products". For certain specific third-party license restrictions, please refer to section E of the Legal Notices available under "License Terms and Conditions for Use of Software AG Products / Copyright and Trademark Notices of Software AG Products". These documents are part of the product documentation, located at <http://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).



目次

1	はじめに.....	1
2	テキストの表記規則.....	2
3	本マニュアルの内容	3
3.1	目的および範囲	3
4	ARIS 表記規則	4
4.1	ユーザーとユーザー グループの作成	4
4.1.1	役割と要員の割り当て	6
4.2	質問票テンプレートの作成	8
4.2.1	質問票テンプレート オブジェクト	12
4.2.2	セクション オブジェクト.....	14
4.2.3	質問オブジェクト.....	15
4.2.4	オプション セット オブジェクト.....	17
4.2.5	回答オプション オブジェクト	17
4.2.6	質問タイプ.....	18
4.2.7	調査評価者による回答の評価.....	19
4.3	オブジェクトと関係の非アクティブ化	19
4.4	質問票テンプレート割り当て	20
4.4.1	質問票テンプレート割り当てモデル内の質問票テンプレートのオブジェクト関係	22
4.4.2	調査タスク.....	24
4.4.3	質問票テンプレート割り当てモデル内の調査タスクのオブジェクト関係.....	27



1 はじめに

質問票テンプレートの作成を簡易化して、再利用できるようにするため、ARIS Architect (ABA) で質問票テンプレートのオブジェクトをモデル化できます。ただしこれは、ARIS Architect でのモデリングのメソッドおよび機能の規則と表記規則が順守されている場合のみ実行できます。これらのルールに従った場合にのみ、すべてのモデル化されたデータは ARIS Risk & Compliance Manager (ARCM) に転送されて、再利用することができます。



2 テキストの表記規則

各項目の表記規則について説明します。

- メニューアイテムやダイアログ ボックスなどの UI 用語は角括弧 ([]) で表記されます。
- ユーザーが入力する内容は、山括弧 (<>) で表示されます。
- 複数行から成る長いディレクトリ パスなどの、1 行から成る例のテキストは文字 ↵ により行の最後で分割されます。
- ファイルからの抽出テキストは、次のフォントで表示されます。

```
This paragraph contains a file extract.
```



3 本マニュアルの内容

以下の各セクションでは、説明ビュー、モデル タイプ、オブジェクト タイプ、関係タイプと接続線タイプ、および属性の使用に関する標準を説明します。

3.1 目的および範囲

目的: モデリング ガイドラインの仕様設計

本マニュアルに含まれないもの: ユーザーの文書



4 ARIS 表記規則

4.1 ユーザーとユーザー グループの作成

ユーザーおよびユーザー グループは、[要員] (OT_PERS) および [役割] (OT_PERS_TYPE) のオブジェクトを使用して ARIS Architect の組織図でモデル化されます。



図 1: ユーザーおよびユーザー グループの構造 (組織図)

上位役割 [調査回答者_3] によって、ARIS Risk & Compliance Manager では下位役割が果たす役割が指定されます。これらの役割は、[汎化結果である] 接続線を使用して接続されます。[調査回答者グループ 3.01] は、[調査回答者_3] の汎化の結果です。作成されるグループの役割とレベルは上位役割名により定義されます。<役割>_<レベル>、つまり [調査回答者_3] > 役割: 調査回答者、レベル: 3 (またはオブジェクト固有) になります。ユーザー グループは、上位役割 (調査回答者_3) に対して ARIS Risk & Compliance Manager で生成されません。

以下がさまざまなレベルに適用されます。

- レベル 1: クライアント汎用
つまり、権限が複数クライアントに割り当てられます。
- レベル 2: クライアント固有
つまり、権限が特定のクライアントに割り当てられます。
- レベル 3: オブジェクト固有
つまり、方針、リスク、または統制などの特定のオブジェクトに権限が割り当てられます。

上記の例では、[調査回答者グループ 3.01] ユーザー グループは、[調査回答者] の役割およびレベル「3」(オブジェクト固有の権限) を使用して ARIS Risk & Compliance Manager で生成されます。また、ユーザー ID「B_01」と「B_02」のユーザーが生成されます。



役割名 (ARCM) と役割 (ABA) の対応一覧

次の割り当ては、ARIS Risk & Compliance Manager での役割と ARIS Architect で使用される名前に適用されます。その他の役割については、他の表記規則マニュアルで説明しています。

役割 (ARCM)	役割 (ABA)	注意
roles.surveyauditor	調査監査人	レベル 1 および 2
roles.surveymanager	調査担当者	レベル 1 および 2
roles.surveyreviewer	調査評価者	レベル 3 のみ
roles.questionnaireowner	調査回答者	レベル 3 のみ



4.1.1 役割と要員の割り当て

役割 (ABA) とユーザー グループ (ARCM) の割り当て

次の割り当てを [役割 (ユーザー グループ)] オブジェクトに適用できます。

ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
名前	AT_NAME	name	○	ユーザー グループ名は最大 250 文字に制限されています。
説明/定義	AT_DESC	description	-	
役割	-	role	○	[役割] と [役割レベル] の値は、上記のとおり指定されます。
役割レベル	-	rolelevel	○	
ユーザー	-	groupmembers	-	[ユーザー] は要員と役割間の [実行する] 接続線によって指定されます。

*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。



要員 (ABA) とユーザー (ARCM) の割り当て

古いモデル作成の規則に基づいた既存のデータベースは、提供されている ARCM user migration.arx レポートを使用して移行できます。姓と名の 2 つの属性は同じ属性から派生するため、結果を確認する必要があります。

次の割り当ては [要員 (ユーザー)] オブジェクトに適用できます。

ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
ログオン	AT_LOGIN	Userid	○	ユーザーのユーザー ID は最大 250 文字に制限されています。
名	AT_FIRST_NAME	firstname	○	
姓	AT_LAST_NAME	lastname	○	
		name	-	姓と名の組み合わせ
説明/定義	AT_DESC	description	-	
電子メール アドレス	AT_EMAIL_ADDR	email	○	
電話番号	AT_PHONE_NUM	phone	-	
		clients	-	[クライアント] フィールドは、データのインポート先のクライアントによって指定されます。
		substitutes	-	[代理] フィールドは、手動でのみ設定されます。






*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。



4.2 質問票テンプレートの作成

マスター データの管理を簡易化するために、ARIS Architect で [質問票テンプレート] をモデル化できます。これには [調査管理] (MT_SURVEY_MGMT) モデルを使用します。次のオブジェクトをモデルで使用できます。

オブジェクトとシンボル

オブジェクト タイプ	API 名	シンボル
質問票テンプレート	OT_SURVEY_QUEST_TMPL	 質問票テンプレート
セクション	OT_SURVEY_SECTION	 セクション
質問	OT_SURVEY_QUESTION	 質問
オプション セット	OT_SURVEY_OPTION_SET	 オプション セット
回答オプション	OT_SURVEY_OPTION	 回答オプション



質問票テンプレートのオブジェクト間の関係は、例で示します。



図 2: 質問票テンプレートの例 (画面図)

最高レベルのアイテムは質問票テンプレートです (「プロセス評価の自己評価」)。質問票テンプレートには任意の数のセクションを割り当てることができます。セクションは、任意の数のサブセクションを持つことができます。上の例では、質問票テンプレートには「一般情報」と「経営者」の 2 つのセクションがあります。質問は、質問テンプレートに直接割り当ててはできません。質問はセクションにのみ割り当てることができます。質問は 1 つのセクション内で 1 回しか存在できないことに注意してください。質問の上の図では、「プロセス所有者は誰ですか?」および「プロセスの関与人数」は [一般情報] セクションに割り当てられています。「プロセス所有者は誰ですか?」という質問は、テキスト タイプの自由回答形式の質問です。つまり、この質問の回答にはテキスト ボックスが使用できます。「プロセスの関与人数」という質問は、単一選択の質問タイプです。上の図で示されているように、この質問には 3 つの可能な回答が割り当てられています。ユーザーは、3 つの回答からいずれかを選択してこの質問に回答できます。

可能な回答の組み合わせを頻繁に使用する場合は、これらの回答を 1 つのオプション セットにまとめることができます。上の例では、「管理職は、プロセスの継続的な改善および調整をどのようにして確かなものにしていきますか?」という質問に [最



良]、[とても良い]、[良い]、[普通]、[劣っている] のオプション セットが割り当てられています。オプション セットは、[調査管理] タイプの同じモデルか、すべてのオプション セットを組み合わせる別のモデルでモデル化できます。

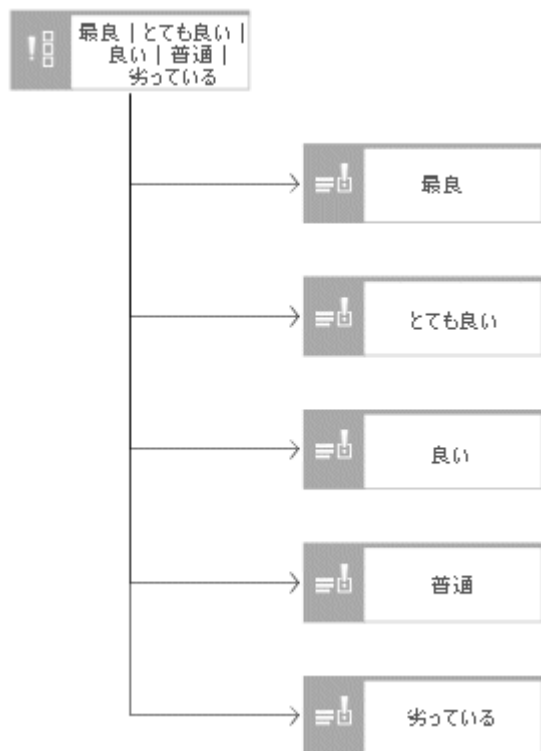


図 3: オプション セット (画面図)

次の接続線と関係が調査管理のオブジェクト間で使用できます。

質問票テンプレートのオブジェクト関係

オブジェクト	接続線	オブジェクト	注意
質問票 テンプレート	含む	セクション	質問票テンプレートは複数のセクションを持つことができます。セクションは、1 つの質問票テンプレートにのみ存在できます。セクションを別の質問表テンプレートで再使用することはできません。
セクション	含む	セクション	セクションには複数のサブセクションを含めることができます。サブセクションは、1 つの上位セクションしか持つことができません。
セクション	含む	質問	セクションには複数の質問を含めることができます。質問はセクション内で 1 回しか存在できません。ただし、異なるセクションで質問を使用することはできます。質問は、別の質問票テンプレートで使用することもできます。
質問	含む	オプション セット	質問にはオプション セットは 1 つのみ割り当てることができます。ただし、オプション セットには複数の質問を割り当てることができます。



オブジェクト	接続線	オブジェクト	注意
質問	持つ	回答オプション	質問には複数の回答を割り当てることができます。回答オプションは、複数の異なる質問に割り当てることができます。
オプション セット	持つ	回答オプション	オプション セットには複数の回答オプションを含めることができます。回答オプションは、複数の異なるオプション セットに割り当てることができます。



4.2.1 質問票テンプレート オブジェクト

質問票テンプレートは、[質問票テンプレート] オブジェクト (OT_SURVEY_QUEST_TMPL) を使用して ARIS Architect でモデル化します。質問票テンプレートは、[エクスポート関連] 属性が設定されている質問票テンプレートごとに ARIS Risk & Compliance Manager で作成されます。次の割り当ては [質問票テンプレート] オブジェクトに適用できます。

ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
名前	AT_NAME	name	○	質問票テンプレートの名前は最大 250 文字に制限されています。
説明/定義	AT_DESC	description	-	
セクション	-	sections	-	質問票テンプレートと割り当てられたセクションの間の接続線を使用して決定『8 ページ』されます。セクションへの対応するリンクは ARCM に保存されます。
タイトル 1/リンク 1	AT_TITL1/AT_EXT_1	documents	-	タイトルとリンクから文書が ARCM で生成され、質問票テンプレートに接続されます。
タイトル 2/リンク 2	AT_TITL2/AT_EXT_2			
タイトル 3/リンク 3	AT_TITL1/AT_EXT_1			
タイトル 4/リンク 4	AT_TITL4/AT_EXT_4			



ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
ARIS 文書格納リンク 1	AT_ADS_LINK_1	documents	-	
ARIS 文書格納リンク 2	AT_ADS_LINK_2			
ARIS 文書格納リンク 3	AT_ADS_LINK_3			
ARIS 文書格納リンク 4	AT_ADS_LINK_4			
スコア(目標)	AT_SCORE_TARGET	targetScore	-	スコア (目標) は、特定の質問票に関して達成すべき点数を指定します。
エクスポート関連	AT_AAM_EXPORT_RELEVANT	-	-	この属性は、質問票テンプレートを ARCM にエクスポートするかどうかを指定します。

*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。



4.2.2 セクション オブジェクト

セクションは、[セクション] オブジェクト (OT_SURVEY_SECTION) を使用して ARIS Architect でモデル化します。次の割り当ては [セクション] オブジェクトに適用できます。

ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
名前	AT_NAME	name	○	セクションの名前は最大 250 文字に制限されています。
説明/定義	AT_DESC	description	-	
サブセクション	-	subSections	-	セクションとサブセクションの間の接続線を使用して決定『8 ページ』されます。サブセクションへの対応するリンクは ARCM に保存されます。
質問	-	questions	-	セクションと割り当てられた質問の間の接続線を使用して決定『8 ページ』されます。質問への対応するリンクは ARCM に保存されます。
スコア(目標)	AT_SCORE_TARGET	targetScore	-	スコア (目標) は、特定のセクションに関して達成すべき点数を指定します。

*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。



4.2.3 質問オブジェクト

質問は、[質問] オブジェクト (OT_SURVEY_QUESTION) を使用して ARIS Architect でモデル化します。オプション セットと回答オプションは、質問に同時に割り当ててはできません。次の割り当ては [質問] オブジェクトに適用できます。

ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
説明/定義	AT_DESC	question_text	○	ABA 属性の [説明/定義] には、質問テキストが含まれます。
注釈/例	AT_REM	remark	-	ABA 属性の [注釈/例] には、質問テキストに関する注釈や説明を含めることができます。
オプション セット	-	optionSet	-/○	質問と割り当てられたオプション セットの間の接続線を使用して決定『8 ページ』されます。オプション セットへの対応するリンクは ARCM に保存されます。
回答オプション	-	options	-/○	質問と回答オプションの間の接続線を使用して決定されます。回答オプションへの対応するリンクは ARCM に保存されます。
メモの使用許可	AT_ANNOTATIONS_ALLOWED	annotation Allowed	-	調査回答者が質問に関してメモを取るかどうかを指定します。(デフォルト: False = いいえ)
質問タイプ	AT_QUESTION_TYPE	type	○	質問タイプは質問の種類を指定します (たとえば、単一選択、テキストなど)。
調査評価者による回答の評価	AT_REVIEWER_RATES_ANSWER	reviewerRates Answer	-	調査評価者が調査回答者の回答を評価して、スコアを割り当てることができるかどうかを指定します。(デフォルト: False = いいえ)
任意回答	AT_OPTIONAL_QUESTION	optional Question	-	質問がオプションであるかどうかを指定します。(デフォルト: False = いいえ)



ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
タイトル 1/リンク 1	AT_TITL1/AT_EXT_1	documents	-	タイトルとリンクから文書が ARCM で生成され、質問に接続されます。
タイトル 2/リンク 2	AT_TITL2/AT_EXT_2			
タイトル 3/リンク 3	AT_TITL1/AT_EXT_1			
タイトル 4/リンク 4	AT_TITL4/AT_EXT_4			
ARIS 文書格納リンク 1	AT_ADS_LINK_1	documents	-	
ARIS 文書格納リンク 2	AT_ADS_LINK_2			
ARIS 文書格納リンク 3	AT_ADS_LINK_3			
ARIS 文書格納リンク 4	AT_ADS_LINK_4			

*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。



4.2.4 オプション セット オブジェクト

オプション セットは、[オプション セット] オブジェクト (OT_SURVEY_OPTION_SET) を使用して ARIS Architect でモデル化します。次の割り当ては [オプション セット] オブジェクトに適用できます。

ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
名前	AT_NAME	name	○	オプション セットの名前は最大 250 文字に制限されています。
説明/定義	AT_DESC	description	-	
回答オプション	-	options	○	オプション セットと回答オプションの間の接続線を使用して決定されます。回答オプションへの対応するリンクは ARCM に保存されます。

*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。

4.2.5 回答オプション オブジェクト

回答オプションは、[回答オプション] オブジェクト (OT_SURVEY_OPTION) を使用して ARIS Architect でモデル化します。次の割り当ては [回答オプション] オブジェクトに適用できます。

ABA 属性	API 名	ARCM 属性	M*	注意
回答オプション	AT_NAME	name	○	回答オプションの名前は最大 250 文字に制限されています。
回答値	AT_OPTION_VALUE	optionValue	○	回答値はスコアの計算に使用されます (対応する回答が選択された場合)。

*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。



4.2.6 質問タイプ

回答の基本プロパティは、質問タイプです。質問タイプは、質問にどのように回答できるか、またはしなければならないかを指定します。さらに、質問タイプは、質問がオプション セットまたは回答オプションに割り当てられるかについて影響を与えます。

以下の質問タイプを使用できます。

- **単一選択**

単一選択の質問タイプは、調査回答者は、使用できる回答オプションから 1 つの回答のみを選択できることを指定します。この質問タイプを選択した場合は、質問はオプション セットまたは回答オプションに割り当てられる必要があります。

- **複数選択**

複数選択の質問タイプは、調査回答者は、使用できる回答オプションから任意の数の回答を選択できることを指定します。この質問タイプを選択した場合は、質問はオプション セットまたは回答オプションに割り当てられる必要があります。

- **テキスト**

テキスト質問タイプは、調査回答者は、質問の回答に任意のテキストを入力できることを指定します。

- **数値（整数）**

数値（整数）質問タイプは、調査回答者は、質問の回答に整数を入力しなければならないことを指定します。

- **数値（浮動小数点）**

数値（浮動小数点）質問タイプは、調査回答者は、質問の回答に浮動小数点値を入力しなければならないことを指定します。

- **日付**

日付質問タイプは、調査回答者は、質問の回答に日付を入力しなければならないことを指定します。

- **日付範囲**

日付範囲質問タイプは、調査回答者は、質問の回答に日付範囲（～から～まで）を入力しなければならないことを指定します。

これらの質問タイプはすべて排他的です。つまり、質問は 1 つの質問タイプしか持つことができません。



4.2.7 調査評価者による回答の評価

[調査評価者による回答評価] 属性が設定されている場合は、調査評価者は調査回答者の回答を評価できます。ただし、これは質問が単一選択または複数選択タイプでない場合のみ可能です。属性が設定されると、質問はオプション セットまたは回答オプションに割り当てられる必要があります。調査回答者が質問に回答したら、調査評価者は回答オプションから適合する回答を選択できます。これを実行する際には、調査評価者は質問に回答するのではなく、調査回答者の回答を評価します。この評価により、対応する質問のスコアが決定します。

4.3 オブジェクトと関係の非アクティブ化

ARIS Risk & Compliance Manager のオブジェクトと関係は、変更を追跡できるようにするためバージョン管理されます。そのため、ARIS Risk & Compliance Manager のオブジェクトと関係は非アクティブにされ、削除されません。つまり、対応するデータ アイテムは非アクティブになり、データベースからは削除されません。







インポートによって ARIS Risk & Compliance Manager でオブジェクト/関係を非アクティブにするには、対応するように ARIS Architect でマークする必要があります。これを実行するには、[非アクティブ] (AT_DEACT) 属性を使用します。この属性はオブジェクトと接続線の両方に設定できます。属性が設定されると、オブジェクトまたは接続線は次にインポートを実行する際に非アクティブになります。

もちろん、これが実行されるのは、ARIS Architect エクスポート ファイルにオブジェクトと関係が含まれている場合のみです。ARIS Risk & Compliance Manager へのインポートが正常に実行されたら、ARIS Architect でオブジェクト/接続線を削除できます。インポートが実行される前にオブジェクト/接続線が ARIS Architect で削除された場合は、これらを ARIS Risk & Compliance Manager で手動で非アクティブにできます。







4.4 質問票テンプレート割り当て

[質問票テンプレート割り当て] タイプのモデルには、[調査管理] タイプのモデルを割り当てることができます。このモデルは、調査に関係する領域、オブジェクト、および階層に関する情報を表します。モデルは ARIS Risk & Compliance Manager にインポートされません。[質問票テンプレート割り当て] モデルでは、次のオブジェクトを [関係する] 接続線を使用して [質問票テンプレート] タイプのオブジェクトに割り当てることができます。

オブジェクト タイプ名	シンボル タイプ名	API 名	シンボル	ARCM 名
タスク	プロジェクト/タスク	OT_FUNC_INST	 プロジェクト  タスク	監査テンプレート/監査手順
リスク カテゴリ	リスク カテゴリ	OT_RISK_CATEGORY	 リスク カテゴリ	リスク カテゴリ
アプリケーション システム タイプ	アプリケーション システム タイプ	OT_APPL_SYS_TYPE	 アプリケーション システム タイプ	アプリケーション システム タイプ
ファンクション	ファンクション/統制	OT_FUNC	 ファンクション  統制	プロセス/統制



オブジェクト タイプ名	シンボル タイプ名	API 名	シンボル	ARCM 名
組織ユニット	組織ユニット	OT_ORG_UNIT	 組織ユニット	組織
用語	用語	OT_TECH_TRM	 用語	規定
方針	経営方針	OT_POLICY	 経営方針	方針の定義
リスク	リスク	OT_RISK	 リスク	リスク



4.4.1 質問票テンプレート割り当てモデル内の質問票テンプレートのオブジェクト関係

オブジェクト	接続線	オブジェクト	注意
質問票テンプレート	影響する	監査テンプレート/監査手順	複数の監査テンプレートまたは監査手順、またはその両方を質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	方針	複数の方針定義を質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	リスク カテゴリ	複数のリスク カテゴリを質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	用語/規定	複数の規定を質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	ファンクション/プロセス	複数のプロセスを質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	アプリケーション システム タイプ	複数のアプリケーション システム タイプを質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	組織ユニット	複数の組織ユニットを質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	リスク	複数のリスクを質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	統制	複数の統制を質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS



オブジェクト	接続線	オブジェクト	注意
			Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	影響する	検査の定義	複数の検査定義を質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager には転送されません。
質問票テンプレート	開始される	調査タスク	複数の調査タスクを質問票テンプレートに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。



4.4.2 調査タスク

[調査タスク] タイプのオブジェクトは、[開始される] 接続線を使用して [質問票テンプレート] タイプのオブジェクトに接続できます。質問票テンプレートでエクスポートに関連するマークを付けてモデル化された [調査タスク] タイプのオブジェクトは、調査タスクでモデル化されているすべてのオブジェクトとあわせて ARIS Risk & Compliance Manager にインポートされます。

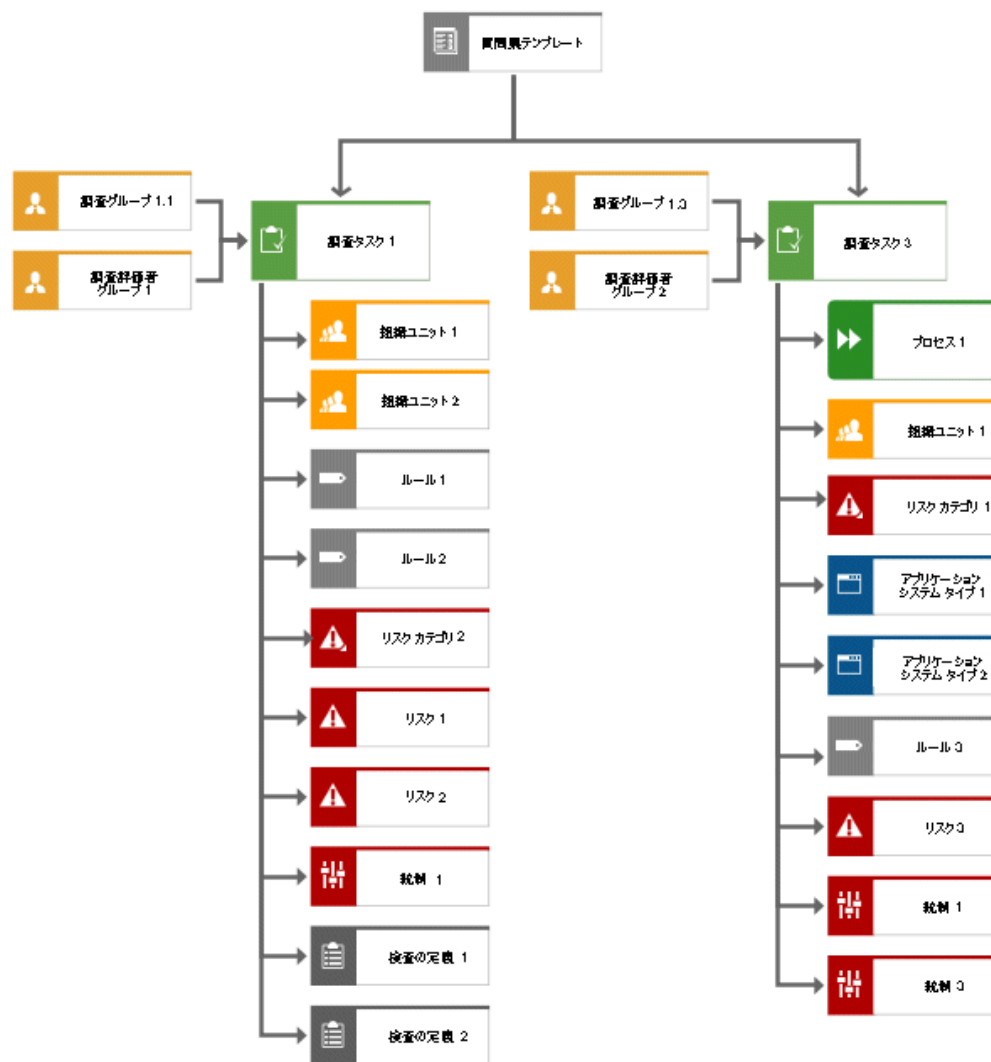


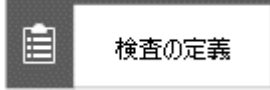
図 4: 質問票テンプレートの例 (画面図)




[影響する] 接続線を使用して、次のオブジェクトを [質問票テンプレート割り当て] モデルで [調査タスク] タイプのオブジェクトに割り当てることができます。

オブジェクト タイプ名	シンボル タイプ名	API 名	シンボル	ARCM 名
リスク カテゴリ	リスク カテゴリ	OT_RISK_CATEGORY	 リスク カテゴリ	リスク カテゴリ
アプリケーション システム タイプ	アプリケーション システム タイプ	OT_APPL_SYS_TYPE	 アプリケーション システム タイプ	アプリケーション システム タイプ
ファンクション	ファンクション/統制	OT_FUNC	 ファンクション  統制	プロセス/統制
組織ユニット	組織ユニット	OT_ORG_UNIT	 組織ユニット	組織
用語	用語	OT_TECH_TRM	 用語	規定
リスク	リスク	OT_RISK	 リスク	リスク



オブジェクト タイプ名	シンボル タイプ名	API 名	シンボル	ARCM 名
検査の定義	検査の定義	OT_TEST_DEFINITION		検査の定義

調査を担当する調査回答者は、[割り当てる] 接続線を使用して調査タスクに割り当てられます。これはまた、担当の調査評価者グループでも同様です。

役割	役割	OT_SURVEYTASK		調査回答者グループ、調査評価者グループ
----	----	---------------	---	---------------------

4.4.3 質問票テンプレート割り当てモデル内の調査タスクのオブジェクト関係

オブジェクト	接続線	オブジェクト	注意
調査タスク	影響する	リスク カテゴリ	複数のリスク カテゴリを調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。
調査タスク	影響する	用語/規定	複数の規定を調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。
調査タスク	影響する	ファンクション/プロセス	複数のプロセスを調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。
調査タスク	影響する	アプリケーション システム タイプ	複数のアプリケーション システム タイプを調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。



オブジェクト	接続線	オブジェクト	注意
調査タスク		組織ユニット	複数の組織ユニットを調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。
調査タスク	影響する	リスク	複数のリスクを調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。
調査タスク	影響する	統制	複数の統制を調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。
調査タスク	影響する	検査の定義	複数の検査の定義を調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。
調査タスク	割り当てられている	役割	複数の調査回答者グループと 1 つの評価者グループを調査タスクに割り当てることができます。この関係は ARIS Risk & Compliance Manager に転送されます。

調査タスクは、[調査タスク] オブジェクト (OT_SURVEY_TASK) を使用して ARIS Architect でモデル化します。次の割り当ては [調査タスク] オブジェクトに適用できます。

ARIS オブジェクト	ARIS 属性	API 名	M*	注意
名前	AT_NAME	name	○	調査タスクの名前です。



頻度	AT_SURVEYTASK_FREQUENCY	frequency	○	<p>頻度は、調査が生成される頻度を定義します:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 単発 ▪ 日次 ▪ 週次 ▪ 月次 ▪ 四半期 ▪ 半期 ▪ 年次
開始日	AT_SURVEYTASK_START_DATE	startDate	○	調査の生成を開始する日付を出力します。
終了日	AT_SURVEYTASK_END_DATE	endDate		調査の生成を終了する日付を出力します。
オフセット (単位: 日)	AT_SURVEYTASK_OFFSET	offset	○	調査タスクが統制期間の何日前にあるかを出力します。
実行期限 (単位: 日)	AT_SURVEYTASK_DURATION	surveyDuration	○	調査回答者が調査を完了するために使用できる日数を出力します。期間は、調査を完了しなければならない完了日を定義します。
統制期間の長さ	AT_SURVEYTASK_CTRL_PERIOD	controlPeriod	○	<p>統制の時間単位を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 日 ▪ 週 ▪ 月 ▪ 四半期 ▪ 半期 ▪ 年



		questionnaireOwner Group	○	担当の調査回答者グループです。この役割は複数グループに割り当てることができます。調査タスクとロールの間の接続線を使用して決定されます。調査タスクへの対応する関係は、ARIS Risk & Compliance Manager に保存されます。
		surveyReviewerGroup	○	担当の調査評価者グループです。役割は、1 つのグループにのみ割り当てることができます。調査タスクとロールの間の接続線を使用して決定されます。
		relatedAppSystems		割り当てられたアプリケーション システム タイプの一覧です。調査タスクとアプリケーション システム タイプの間の接続線を使用して決定されます。
		relatedOrgunits		割り当てられた組織ユニットの一覧です。調査タスクと組織ユニットの間の接続線を使用して決定されます。
		relatedProcesses		割り当てられたファンクション/プロセスの一覧です。調査タスクとファンクションの間の接続線を使用して決定されます。
		relatedRegulations		割り当てられた規定の一覧です。調査タスクと規定の間の接続線を使用して決定されます。
		relatedCategories		割り当てられたリスク カテゴリの一覧です。調査タスクとリスク カテゴリの間の接続線を使用して決定されます。
		risks		割り当てられたリスクの一覧です。調査タスクとリスクの間の接続線を使用して決定されます。



		controls	割り当てられた統制の一覧です。調査タスクと統制の間の接続線を使用して決定されます。
		test_definitions	割り当てられた検査定義の一覧です。調査タスクと検査定義の間の接続線を使用して決定されます。

*M 列では属性が必須項目であるかどうかを示されます。